

敦賀発電所1号機の原子炉起動について (湿水分離器ドレンタンク(A)からの蒸気漏れ)

敦賀発電所1号機(沸騰水型軽水炉:定格電気出力35万7千kW)は、定格熱出力一定運転中の平成22年6月10日に、湿水分離器ドレンタンク※(A)のマンホールフランジ面からの蒸気漏れが確認されたため、翌11日に原子炉を停止しました。

調査の結果、フランジ面に挟み込まれたパッキンの締め付け量が、漏れ止めに必要な量を下回っていることが確認されました。

原因は、前回(平成11年、第26回定期検査)のパッキン交換作業において、工事要領書にパッキンの締め付け量を規定していなかったことにより、パッキンが十分に締め付けられませんでした。このため、運転時の熱によるパッキンの締め付け低下が重なり、蒸気漏れに至ったものと推定しました。

対策として、当該マンホールフランジの工事要領書にパッキンの締め付け量を規定します。この要領書に従い、新品のパッキンに取り替え復旧します。

※ 湿水分離器ドレンタンク

高圧タービンを出た蒸気の湿分を取り除く湿水分離器からのドレン水を受けるタンク。

(平成22年6月10日、7月21日公表済)

当該マンホールフランジについて、パッキンの締め付け量を規定した工事要領書に従い、新品のパッキンに取り替え復旧しました。また、今回の事象を踏まえ、運転に支障を及ぼす可能性のあるマンホールフランジ(57箇所)について、パッキンの締め付け確認を行いました。

これらの対策が完了したことから、本日夜に原子炉を起動し、翌29日臨界に達した後、30日に発電を再開する予定です。

以上